



【くすき正信プロフィール】

- 昭和30年1月10日生まれ(53才)
- 福岡大学附属大濠高等学校、国学院大学法学部法律学科卒業
- 平成19年4月中央区より初当選
- 家族:妻と子ども2人の4人家族
- 地域の役職/中央保護区保護司会 保護司(115.3月~)
- 趣味/野球・書道

# これまで、これからも —— 全力疾走!



皆さまに支えて頂き、昨年一年間元気一杯議員活動をさせていただきました。

本当にありがとうございました。

本年も一つ一つの市民相談を大切にしながら、福岡市政の諸問題に真剣に取り組んでまいります。

## 商工金融制度の 充実、改善

商工金融資金制度の充実、改善に加え、融資予算枠の確保、返済繰り延べの柔軟な対応、円滑な融資審査を進める。また、融資実行後の専門家や経験者による経営相談の充実を図る。物価高や金融不安への緊急融資制度の対象中小企業の柔軟な運用を図る。

## 公明党市議団としての 取組み

公明党市議団として、以下の点について吉田市長へ要望書を提出しました。



## 高齢者や障がい者、 低所得者等への 各種公共料金 減免制度の創設

世界的な金融危機などから福岡市民の生活は大きな打撃を受けている。特に低所得の障がい者や高齢者の生活は今後ますます厳しくなっていく。こうした方々への各種公共料金の減免措置を実施する。

## 重度障がい者の医療費 無料化の維持

県の実施による重度障がい者の医療費の一部負担は、障がい者の医療を受ける権利を奪うことにも繋がるので、導入しない。県に対し、福岡市と県下他市町村の障がい者を区別せず、同率の助成を行うよう、強く要望する。

## 徹底した行政の 「事業仕分け」で 大胆な歳出削減

外郭団体も含めた市の全ての事業について、廃止するもの・統合するもの・民間に委託するものに仕分けし、捻出した財源を子育て・障がい者・高齢者福祉など新年度予算に反映する。

## 母親の医療の充実

母体や胎児の健康保持と経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査の公費負担の回数を5回から14回に拡充するとともに、産婦人科医の確保やリスクの高い妊産婦や新生児に適切な医療を提供する周産期医療体制の充実を図る。



# 森を守り、林業を守るための活動



「環境共育を考える会」の松原さんと田中さんと、森を守るための間伐作業を行いました。木にふれ・汗をながすことで、大切なものが見えてきました。

ここでは福岡市の緑・森を守るため植林作業を行いました。近年、国産材需要の減退や木材価格の長期低迷により、森林の荒廃を招いています。

安全で安心な国民の暮らしを守る上で、重要な役割を担う森林を適切に守るための安定的な財源を確保することなどを求め、森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書を立案し、内閣総理大臣に提出しました。

# ～ひとりの声に全力～ 市民相談



ひとつひとつの市民相談に、大切に取り組んでまいりました。平成20年12月現在、783件のご相談をお受けしております。

その中から福岡市の歴史、観光施設を結ぶ周遊バスを運行して欲しいとの声があり、関係各所に強く要望。現在、西鉄福岡シティーバス「ぐりーん」が運行されています。



# 中学校給食の現状について 調査・視察



食について自ら考え、判断できる能力を養成するための食育プログラムの作成を求め、給食での十分な食事時間の確保を求めました。

# 高知県四万十市【まちバス】 調査・視察



～四万十市役所にて～

高齢社会における住宅と交通に関する地域コミュニティに取り組んでいる四万十市に調査・勉強に参りました。

四万十市では、高齢の方が無理なく病院や役所に行くための交通手段を『まちバス』として一人200円で運行し、しかもバスを電話で自分の近くまで呼べるシステムを実施しています。『まちバス』のよさを取り入れながら、福岡市でも導入を目指し、研究してまいります。



発行／福岡市議会公明党

くすき 正信議員

福岡市中央区天神1-8-1

TEL 711-4728 FAX 741-4597